

2 第218回国会概観

（召集・会期）

第218回国会（臨時会）は、7月20日に行われた第27回参議院議員通常選挙を受け、8月1日に召集された。

会期は、召集日の衆参両院本会議において、8月5日までの5日間とする旨議決された。

開会式は、召集日の午後2時から、参議院議場で行われた。

（院の構成）

第27回参議院議員通常選挙の結果、召集日の本会議の開会時点における会派別所属議員数は、自民100、立憲43、民主25、公明21、維新19、参政15、共産7、れ新6、保守2、沖縄2、無8（議長を含む）（合計248）となった。

召集日の本会議では、議長及び副議長の選挙、常任委員長選挙、7特別委員会（災害対策、ODA沖縄北方、政治改革、拉致問題、地方デジタル、消費者問題、震災復興）の設置等が行われた。

議長選挙では、無名投票の結果、第35代議長に前議長の関口昌一君が再び当選した。また、副議長選挙では、無名投票の結果、第34代副議長に福山哲郎君（立憲）が当選した。同日、福山副議長は、所属会派を退会した。

なお、調査会の設置は行われなかった。

（活動等の概要）

参議院議員提出法律案は、今国会提出1件であったが、審査未了となった。

衆議院議員提出法律案は、今国会提出1件であったが、衆議院で継続審査となった。また、衆議院で継続審査となっていた法律案等（内閣提出法律案1件、衆議院議員提出法律案60件、予備費等3件）は、全て、衆議院で継続審査となった。

内閣総理大臣の所信表明演説は行われなかった。

予算委員会では、8月5日、石破内閣総理大臣、財務大臣及び関係大臣が出席し、米国の関税措置等内外の諸課題に関する件について集中審議が行われた。

請願は、会期が短いため、受け付けなかった。

会期末の8月5日、本会議で閉会手続が行われた。